



平成27年度
「十七字のふれあい」事業

県南域内作品集

～ふれあいを 未来へつなぐ 十七字～



平成27年度 県南域内応募総数
10,750組

平成27年度「十七字のふれあい」事業を終えて

皆様方に親しまれております「十七字のふれあい」事業は、今年度で第14回となりました。県南域内からは、昨年度より300組多い10,750組（全県出品数のおよそ3割）の応募をいただくことができ、地域の皆様方から本事業への深いご理解とご協力をいただいているものと、心より感謝申し上げます。

お寄せいただいた作品には、親と子、兄弟姉妹、祖父・祖母と孫とのふれあいや日常体験が一枚の名画のごとく切り取られ、見事に表現されており、「家族の絆」の大切さや優しく見守る愛情を感じさせてくれます。

また、ご応募いただいた方々からは、「子どもと一緒に考えて、楽しい時間を過ごすことができました。」「作品づくりをとおして、よきふれあいとなりました。そして、体験したことの価値をあらためて感じることができました。」「作品づくりも楽しいですが、他の方の作品を読むのも毎年楽しみです。」など、事業への思いや期待が込められたご意見、ご感想が多く寄せられました。

本事業を契機として、子どもと大人が一緒に取り組む体験活動などを通じて、子どもたちに豊かな心をはぐくむとともに、子どもたちが、家族、友人、地域の人々との絆を深め、心と心のふれあいがさらに広がることを願っております。

平成28年2月

福島県教育庁県南教育事務所長 佐藤 晃



福島県教育庁県南教育事務所